

奈良県教育委員会

# 週報

第2365号

令和3年7月8日発行

# 目 次

( 件 名 )	(宛 先)	(主管課)	(頁)
令和3年度「奈良県教育週間」について	各市町村教委教育長 各学校(園)長 学校以外の各県立教育機関の長	教育政策 推進課	1
令和4年度奈良県公立学校管理職候補者選考1次試験(資格試験)について	各市町村教委教育長 各県立学校長	教職員課	2
令和4年度奈良県公立学校管理職候補者選考2次試験(校長候補者選考)について	各市町村教委教育長 各県立学校長	教職員課	5
令和4年度奈良県公立学校管理職候補者選考2次試験(教頭候補者選考)について	各市町村教委教育長 各県立学校長	教職員課	8
第71回全国小・中学校作文コンクール「奈良県コンクール」の実施について	各市町村教委教育長 各小・中学校長 各義務教育学校長 各中等教育学校長 各特別支援学校長	学校教育課	11
令和3年度奈良県中学校英語スピーチ・レシテーションコンテストの開催について	各市町村教委教育長 各中学校長 各義務教育学校長 各中等教育学校長 各特別支援学校長	学校教育課	14
第65回日本学生科学賞の募集について	各市町村教委教育長 各学校長	学校教育課	17
第43回奈良県「未来の科学の夢」絵画展の開催について	各市町村教委教育長 各小・中学校長 各義務教育学校長 各中等教育学校長 各特別支援学校長	学校教育課	20
第78回奈良県児童・生徒発明くふう展の開催について	各市町村教委教育長 各小・中学校長 各義務教育学校長	学校教育課	22

	各 中 等 教 育 学 校 長 各 特 別 支 援 学 校 長		
令和4年度奈良県立高等学校入学者 選抜実施要項説明会の開催について	各 市 町 村 教 委 教 育 長 各 中 学 校 長 各 義 務 教 育 学 校 長 各 公 立 高 等 学 校 長 各 中 等 教 育 学 校 長 各 特 別 支 援 学 校 長	学校教育課	26
第67回青少年読書感想文奈良県コ ンクールの実施について	各 市 町 村 教 委 教 育 長 各 学 校 長	学校教育課	28
令和3年度第2回高等学校卒業程度 認定試験の実施について	各 市 町 村 教 委 教 育 長 各 中 ・ 高 等 学 校 長 各 義 務 教 育 学 校 長 各 中 等 教 育 学 校 長 各 特 別 支 援 学 校 長	人権・地域 教育課	33
令和3年度中・高等学校等保健体育 指導者研修会の開催について	各 市 町 村 教 委 教 育 長 各 中 ・ 高 等 学 校 長 各 義 務 教 育 学 校 長 各 中 等 教 育 学 校 長 各 特 別 支 援 学 校 長	保健体育課	37
令和3年度体育実技指導者研修会の 開催について	各 市 町 村 教 委 教 育 長 各 小 学 校 長 各 義 務 教 育 学 校 長 各 特 別 支 援 学 校 長	保健体育課	40
令和3年度第2、3学期における外 国語指導助手の派遣について	各 市 町 村 教 委 教 育 長 各 公 立 小 学 校 長 各 義 務 教 育 学 校 長 各 県 立 学 校 長	教育研究所	42

(次の週報は、令和3年8月5日(木)発行の予定です。)

各市町村教委教育長  
各学校（園）長  
学校以外の各県立教育機関の長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

## 令和3年度「奈良県教育週間」について（通知）

令和3年度「奈良県教育週間」は、11月1日（月）～11月7日（日）になります。

つきましては、「奈良県教育の日（11月1日）」の趣旨に留意され、下記のとおり、「奈良県教育週間」の期間を中心とした授業公開等の教育関連行事について、保護者や地域の方々に周知いただき、教育に関する理解と関心を高める取組を推進していただきますよう、御準備をお願いします。

### 記

- 1 新学習指導要領では、社会と学校の連携及び協働による「社会に開かれた教育課程」の実現の重要性が示されました。また、本県においても、奈良県の将来を担う子どもたちを生涯学び続ける自立した社会人に育てるために、学校・家庭・地域が連携・協働して子どもたちを育む体制づくりを推進することが重要であると考えます。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に取り組んでいただいている最中ではありますが、各機関におかれましても、これらの方向性を御理解いただき、特に「奈良県教育週間」中の授業公開等の教育関連行事において、開催方式の工夫を講じていただいた上で、可能な範囲で保護者や地域の方々に参加いただき、学校等における教育活動の地域への公開を推進していただきますようお願いいたします。

- 2 「奈良県教育の日」シンボルマークは、県教育委員会ホームページからダウンロードできます。教育関連行事实施の際に御活用ください。



各市町村教委教育長 }  
各県立学校長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 令和4年度奈良県公立学校管理職候補者選考 1次試験（資格試験）について（通知）

このことについて、下記により実施しますので、関係者に周知されるようお願いいたします。  
なお、要項等の配布は令和3年8月23日（月）から行います。

### 記

#### 1 目的

県内公立小・中・義務教育学校及び県立学校（以下「公立学校」という。）の管理職資格者を選考するために実施する。

#### 2 資格

公立学校管理職を志願する者（以下「志願者」という。）で、次の（1）・（2）の条件をいずれも満たす者とする。

- （1） 教諭普通免許状又は特別免許状を所有する教諭（主幹教諭、養護教諭及び栄養教諭を含む。）で、現に県内の公立学校教員（国公立学校又は他県と人事交流中の教員も含む。）又は県若しくは市町村教育委員会事務局職員等（出向者を含む。以下同じ。）である者
- （2） 35歳以上の者（令和4年4月1日現在）で、教諭（主幹教諭、養護教諭及び栄養教諭を含む。）若しくは教育委員会事務局職員等（以下「教諭等」という。）として通算10年以上の勤務経験を有する者又は教諭等の勤務経験が5年以上かつ校務経験値が9以上である者

※ 経験年数は、令和4年3月31日現在。栄養教諭は栄養職員の経験を含む。また、教諭等の経験は県内外、国公立を問わない。

※ 校務経験値は令和2年度末評価とする。県又は市町村教育委員会事務局等に勤務する

志願者で校務経験値が未確定なケースは個別に県教育委員会教職員課で判断する。

### 3 選考の方法と基準

- (1) 選考は、記述試験（論文、法規）の結果により、合否を決定する。
- (2) 選考の基準は、おおむね次のとおりとする。
  - ア 教育的識見、統率力及び判断力を有し、管理職として学校を運営していく能力を有すると認められる者
  - イ 学校運営上、必要な法的知識を有するとともに、管理職として、その知識を活用する能力を有すると認められる者
  - ウ 様々な教育的課題を的確に把握し、課題を分析する能力及び課題の解決に向けて運用する能力を有していると認められる者
- (3) 県又は市町村教育委員会事務局等（出向を含む。）に通算2年以上の勤務経験を有する志願者は、管理職資格者とする。
- (4) (3)については、志願者が資格申請を行った後、管理職資格者名簿（以下「名簿」という。）に登載する。

### 4 記述試験の日時及び場所

- (1) 日時  
令和3年10月23日（土） 記述試験（論文、法規）  
※ 記述試験の法規については、教育小六法などの法規集の持ち込みを許可する。ただし、解説書、参考書、問題集、コピー類、自作メモ類等は不可とする。
- (2) 場所  
奈良県立教育研究所

### 5 出願手続等

- (1) 志願者は、次の各書類を所属長を通じて、令和3年9月24日（金）までに県教育委員会教育長に提出すること。
  - ア 願書（1次試験・2次試験共通）  
（用紙は令和3年8月23日（月）以降に所属長に請求）
  - イ 連絡用封筒 2通（1次試験合格後、2次試験を受験する者は3通）  
〔長3（12.0cm×23.5cm）の定型のり付き封筒に244円切手（特定記録で郵送）を貼り、宛名及び宛先（志願者氏名及び自宅住所）を記入したもの。〕
- (2) 選考結果については、本人に通知する。

### 6 名簿登載

- (1) 試験合格者については、名簿に登載する。
- (2) 名簿登載期間は無期限とする。
- (3) 名簿登載された者が次の各号のいずれかに該当することとなった場合は、名簿から削除

する。

ア 任用を辞退した場合

イ 公立学校教員の資格を失った場合

ウ 前各号に定めのあるもののほか、管理職としての適格性を欠くことが明らかとなった場合

各市町村教委教育長 }  
各県立学校長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 令和4年度奈良県公立学校管理職候補者選考 2次試験（校長候補者選考）について（通知）

このことについて、下記により実施しますので、関係者に周知されるようお願いいたします。  
なお、要項等の配布は令和3年8月23日（月）から行います。

### 記

#### 1 目的

県内公立小・中・義務教育学校及び県立学校（以下「公立学校」という。）の管理職（校長）としての適格者を選考するために実施する。

#### 2 資格

公立学校長を志願する者（以下「志願者」という。）で、次の（1）～（4）の条件をすべて満たす者（（3）については、ア・イいずれかの条件）とする。

- （1）市町村教育委員会教育長（県立学校にあっては学校長、県教育委員会事務局職員等にあっては所属長）の推薦を受けた者
- （2）管理職資格者名簿又は管理職（教頭）候補者名簿に登載されている者（令和4年4月1日現在）
- （3）ア 50歳以上（令和4年4月1日現在）かつ校務経験値14以上の者  
イ 県内公立学校教頭又は県若しくは市町村教育委員会事務局職員等として1年以上勤務している者  
※ 校務経験値は令和2年度末評価とする。

- （4）県内どこにでも勤務できる者

#### 3 選考の方法と基準

- （1）選考は、面接試験の結果に加え、書類（調書等）を総合的に考慮して合否を決定する。



(2) 選考の基準は、おおむね次のとおりとする。

ア 人格的に尊敬され、教育的識見、統率力及び判断力に優れ、管理職として安定した調整力を発揮しながら学校を経営していく能力を有すると認められる者

イ 心身ともに健康で、力強く職務を遂行する意欲と情熱を有すると認められる者

ウ 幅の広い職務経験を有し、職務に関する多様な課題や困難な事象に柔軟に対処できる行動力や実践力に富み、部下への指導力を十分に発揮できると認められる者

#### 4 面接の日時及び場所

(1) 日時

令和3年11月27日(土) 面接

※ 各人の面接の時刻等については、別に通知する。

(2) 場所

奈良県立教育研究所

#### 5 出願手続等

(1) 志願者は、次の各書類を所属長を通じて、令和3年9月24日(金)までに県教育委員会教育長に提出すること。

ア 願書(1次試験・2次試験共通)

(用紙は令和3年8月23日(月)以降に所属長に請求)

イ 連絡用封筒 2通 [1次試験(資格試験)と合わせて受験する者は3通]

[長3(12.0cm×23.5cm)の定型のり付き封筒に244円切手(特定記録で郵送)を貼り、宛名及び宛先(志願者氏名及び自宅住所)を記入したもの。]

(2) 所属長は、各志願者についての調書を作成し、志願者の書類とともに、市町村立学校及び市町村教育委員会事務局等の志願者については市町村教育委員会教育長に、県立学校及び県教育委員会事務局等の志願者については県教育委員会教育長に提出するものとする。

(3) 市町村教育委員会教育長は、提出された各志願者についての調書に所見を記入し、県教育委員会教育長に提出するものとする。

(4) (2)及び(3)の書類については、10月22日(金)までに提出するものとする。

(5) 選考結果については、本人に通知する。

#### 6 名簿登載

(1) 選考合格者については、管理職(校長)候補者名簿(以下「名簿」という。)に登載する。校長への登用については、この名簿に登載された者の中から決定する。

(2) この名簿は、管理職(教頭)候補者名簿の上位にあるので、名簿登載者は当然に教頭候補者にもなりうる。

(3) 選考合格者の名簿登載期間は、管理職(教頭)候補者名簿と合わせて無期限とする。

(4) (3)の規定にかかわらず、令和2年度以前に名簿へ登載されている者については、登載

当時の条件を引き継ぐものとする。

(5) 名簿登載された者が次の各号のいずれかに該当することとなった場合は、名簿から削除する。

ア 任用を辞退した場合

イ 公立学校教員の資格を失った場合

ウ 心身の故障のため、管理職の職務遂行に支障があり、又はこれに堪えられないことが明らかとなった場合

エ 前各号に定めのあるもののほか、管理職としての適格性を欠くことが明らかとなった場合

各市町村教委教育長 }  
各県立学校長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 令和4年度奈良県公立学校管理職候補者選考 2次試験（教頭候補者選考）について（通知）

このことについて、下記により実施しますので、関係者に周知されるようお願いいたします。  
なお、要項等の配布は令和3年8月23日（月）から行います。

### 記

#### 1 目的

県内公立小・中・義務教育学校及び県立学校（以下「公立学校」という。）の管理職（教頭）としての適格者を選考するために実施する。

#### 2 資格

公立学校管理職を志願する者（以下「志願者」という。）で、次の(1)～(3)の条件をすべて満たす者とする。

- (1) 市町村教育委員会教育長（県立学校にあつては学校長、県教育委員会事務局職員等にあつては所属長）の推薦を受けた者
- (2) 管理職資格者名簿に登録されている者（令和4年4月1日現在）
- (3) 県内どこにでも勤務できる者

#### 3 選考の方法と基準

- (1) 選考は、面接試験の結果に加え、書類（調書等）を総合的に考慮して合否を決定する。
- (2) 選考の基準は、おおむね次のとおりとする。
  - ア 人格が優れ、教育的識見、統率力及び判断力を有し、管理職として学校を運営していく能力を有すると認められる者
  - イ 心身ともに健康で、前向きに職務を遂行する意欲を有すると認められる者
  - ウ 幅の広い職務経験を有し、職務に関する多様な課題や困難な事象に柔軟に対処できる行

動力や実践力に富むと認められる者

#### 4 面接の日時及び場所

(1) 日時

令和3年11月27日(土) 面接

※ 各人の面接の時刻等については、別に通知する。

(2) 場所

奈良県立教育研究所

#### 5 出願手続等

(1) 志願者は、次の各書類を所属長を通じて、令和3年9月24日(金)までに県教育委員会教育長に提出すること。

ア 願書(1次試験・2次試験共通)

(用紙は令和3年8月23日(月)以降に所属長に請求)

イ 連絡用封筒 2通 [1次試験(資格試験)と合わせて受験する者は3通]

[長3(12.0cm×23.5cm)の定型のり付き封筒に244円切手(特定記録で郵送)を貼り、宛名及び宛先(志願者氏名及び自宅住所)を記入したもの。]

(2) 所属長は、各志願者についての調書を作成し、志願者の書類とともに、市町村立学校及び市町村教育委員会事務局等の志願者については市町村教育委員会教育長に、県立学校及び県教育委員会事務局等の志願者については県教育委員会教育長に提出するものとする。

(3) 市町村教育委員会教育長は、提出された各志願者についての調書に所見を記入し、県教育委員会教育長に提出するものとする。

(4) (2)及び(3)の書類については、10月22日(金)までに提出するものとする。

(5) 選考結果については、本人に通知する。

#### 6 名簿登載

(1) 選考合格者については、管理職(教頭)候補者名簿(以下「名簿」という。)に登載する。教頭への登用については、この名簿に登載された者の中から決定する。

(2) 名簿登載期間は2年を限度とする。ただし、県又は市町村教育委員会事務局職員等として勤務する者については、その職にある期間は名簿登載を継続する。

(3) (2)の規定にかかわらず、令和2年度以前に名簿へ登載されている者については、登載当時の条件を引き継ぐものとする。

(4) 名簿登載された者が次の各号のいずれかに該当することとなった場合は、名簿から削除する。

ア 任用を辞退した場合

イ 公立学校教員の資格を失った場合

ウ 心身の故障のため、管理職の職務遂行に支障があり、又はこれに堪えられないことが明

らかとなった場合

エ 前各号に定めのあるもののほか、管理職としての適格性を欠くことが明らかとなった場合

各市町村教委教育長  
各小・中学校長  
各義務教育学校長  
各中等教育学校長  
各特別支援学校長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 第71回全国小・中学校作文コンクール「奈良県コンクール」 の実施について（通知）

このことについて、下記のとおり実施しますので、応募についてよろしくお願ひします。

### 記

#### 1 趣 旨

児童生徒の豊かな表現力を育成するとともに、国語教育の振興を図る。

#### 2 主 催

奈良県教育委員会、読売新聞社

#### 3 応募規定

##### (1) 応募資格

県内小・中学校、義務教育学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校小・中学部に  
在学する児童生徒

##### (2) 部門

小学校低学年の部、小学校高学年の部及び中学校の部

##### (3) 題材

自由

##### (4) 用紙及び字数

ア 400字詰原稿用紙を使用すること。（右端をステープラで留める。）

イ 字数の制限は以下のとおり。

- ・小学校低学年の部・・・原稿用紙10枚以内
- ・小学校高学年の部・・・原稿用紙20枚以内
- ・中学校の部・・・原稿用紙30枚以内

(5) 原稿

ア 1人1編で、自筆（鉛筆、B又は2B）に限る。自筆によることが困難な場合は、代筆することも可能。ただし、学校長の証明書を添付すること。

イ 原稿用紙にページ番号を付けること。

(6) その他

作品は自作、未発表のものに限る。

4 応募方法

(1) 応募作品には、別紙様式による応募票を付けること。

(2) 応募は、学校ごとに取りまとめて送付することとし、「題名」、「氏名（フリガナ）」及び「学年」を記入した一覧表を付けること。

(3) 一つの学校から何点応募してもよい。

5 締切

令和3年9月8日（水）

6 送付先

〒630-8001 奈良市法華寺町141-1

読売新聞奈良支局「作文コンクール」係

TEL 0742-34-1101

7 審査

読売新聞東京本社にて一括して審査を行い、各部門の入賞及び佳作作品を決定する。入賞者及び佳作者には、学校長を通じて通知する。

8 表彰

表彰式は行わない。入賞者及び佳作者には、賞状等を後日学校に届ける。

9 著作権

入賞及び佳作作品の著作権は主催者に帰属する。作品は返却しない。

(別紙様式)

	第71回全国小・中学校作文コンクール 「奈良県コンクール」応募票
題名	
フリガナ 氏名	
学年・組	
フリガナ 自宅住所	
自宅電話番号	
フリガナ 学校名	
フリガナ 学校所在地	
学校電話番号	
FAX番号	
フリガナ 指導者	



各市町村教委教育長  
各 中 学 校 長  
各 義 務 教 育 学 校 長  
各 中 等 教 育 学 校 長  
各 特 別 支 援 学 校 長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

令和3年度奈良県中学校英語スピーチ・レシテーション  
コンテストの開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係生徒の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

中学校の英語学習における「聞くこと」「話すこと」の言語活動を活性化させ、英語教育の振興を図る。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県中学校教科等研究会英語部会

3 日 時

令和3年9月14日（火）9：30～12：15 A部門（レシテーションの部）

13：30～16：30 B部門（スピーチの部）

なお、コンテスト当日午前7時現在、奈良県のいずれかの地域に警報が発表されている場合は、9月24日（金）に延期する。

4 会 場

奈良県大和高田さざんかホール 小ホール

大和高田市本郷町6-36

5 参加対象者

(1) 県内の中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部

に在籍する生徒

- (2) 審査の公平を期するため、英語の習得環境が平均的中学生と比べ優位であると考えられる下記の者は、参加できない。

ア 満5歳の誕生日以降に、通算1年以上又は継続して6か月以上、英語を第一言語、公用語又は公用語に準ずる言語として使用する国・地域（注）に居住した者

イ 日本国内、海外を問わず、6か月以上、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校（アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール又は授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む。）に在籍したことのある者

ウ 保護者又は同居親族に、家庭内で英語を主たる言語として使用している者又は英語を第一言語、公用語又は公用語に準ずる言語として習得した者がいる場合

エ 過去に本大会の中央大会にて1～3位に入賞した者

（注）居住経験のある国・地域が上記アに記されている「国・地域」に該当するかどうかについては、高円宮杯ホームページを参照すること。（<http://jnsafund.org>）

## 6 参加部門と定員

A部門（レシテーションの部）、B部門（スピーチの部）それぞれの部門に、各校1名の生徒が参加できる。

## 7 題材と制限時間

(1) A部門（レシテーションの部）：現在、各校で使用中の教科書又は教科書以外のものから自由に選択できる。

(2) B部門（スピーチの部）：参加生徒の自作のスピーチに限る。

(3) A部門は4分以内、B部門は5分以内とする。また、視覚に訴える道具の使用及び過度な演出・演技はしないこと。演壇の前や横に出て発表することは原則として禁止する。

## 8 表彰

A・B部門とも1位から5位までを表彰する。

なお、B部門の1位入賞者は、高円宮杯第73回全日本中学校英語弁論大会に出場できる。

## 9 参加申込み

別紙様式により、令和3年8月27日（金）までに下記宛て郵送で申し込むこと。

〒630-2174 奈良市横田町199-1

奈良市立田原中学校 教諭 安田 育文

## 10 その他

(1) 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により中止になる場合がある。

(2) 参加申込受理後に必要な提出書類等については、別途、奈良県中学校教科等研究会英語部会を通じて連絡する。

(様式)

令和3年度  
奈良県中学校英語スピーチ・レシテーションコンテスト  
参加申込書

参加者氏名 (ローマ字) (漢字)		性別	学年
A部門 (レシテーションの部)	(タイトル名)		
	教科書名等(教科書の場合は学年、課・ユニット等も記載のこと)		
B部門 (スピーチの部)	(タイトル名)		
学校名 (ローマ字) (漢字)			
学校メールアドレス			
校長名	印		

※ A部門(レシテーションの部)、B部門(スピーチの部)の両部門とも、その原稿のA4版コピー5部を本申込書とともに送付すること。

※ 本書による申込みを受理した旨、令和3年9月7日(火)までに学校宛て電子メールにて通知する。

各市町村教委教育長 }  
各 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 第65回日本学生科学賞の募集について（通知）

このことについて、下記のとおり実施しますので、多数応募されますようよろしくお願いいたします。

### 記

#### 1 趣 旨

小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校における理科教育の振興を図るとともに、児童生徒の自然に対する興味・関心及び科学的探究心を高めることを目的とする。

#### 2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県科学教育振興委員会、読売新聞社

#### 3 募 集

##### (1) 受付日時

令和3年9月24日（金）、27日（月） 両日とも午後1時～午後5時

##### (2) 受付場所

読売新聞奈良支局 奈良市法華寺町141-1

#### 4 応募資格

県内小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒

#### 5 応募規定

(1) 理科の学習に基礎をおく調査研究の記録。ただし、単なる技術的工作並びに模型及び模倣的な作品を除く。

(2) 出品物の点数や重さの制限はないが、輸送や保管しやすいものにする事。

(3) 破損、腐敗のおそれのあるものや危険物は受け付けない。

## 6 出品の方法

(1) 個人研究、共同研究のいずれの場合も学校を通じて出品すること。

(2) 出品物には、別紙様式による出品票を付けること。共同研究の場合は団体名と実際に研究に参加した全員の氏名及びふりがなを明記すること。

(3) 各学校は、作品名、氏名、ふりがな及び学年を記入した出品物一覧表を提出すること。

なお、小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部は、低学年、中学年、高学年別に、中学校、義務教育学校後期課程、高等学校、中等教育学校、特別支援学校中学部及び高等部は、物理、化学、生物、地学の領域別に一覧表を作成すること。

## 7 搬出

(1) 日時 令和3年10月14日(木)、15日(金) 両日とも午後1時～午後5時

(2) 場所 読売新聞奈良支局 奈良市法華寺町141-1

## 8 審査及び表彰

(1) 審査委員会を設けて審査を行い、「小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部」、「中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部」、「高等学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部」の3部門にそれぞれ最優秀賞、優秀賞及び佳作を選び表彰する。また、優秀な作品を多数出品した学校には学校賞を贈る。

(2) 表彰式

ア 日時 令和3年11月4日(木) 午後2時30分～午後4時30分

場所 ホテルリガール春日野 奈良市法蓮町757-2

イ 入賞者には表彰式の案内を令和3年10月31日(日)までに通知する。

## 9 中央審査及び表彰

(1) 小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の優秀作品は全国児童才能開発コンテストに推薦する。また、中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部から原則として3点、高等学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部から原則として3点の優秀作品を、日本学生科学賞中央審査に推薦する。

(2) 中央審査では、内閣総理大臣賞などの入賞作品が選定される。また、高等学校部門の入賞作品出品者のうちから、代表者が米国で開催される国際学生科学技術フェアに派遣される。

## 10 その他

詳細については、読売新聞奈良支局内「日本学生科学賞係」へ問い合わせること。

TEL 0742-34-1101

(別紙様式)

のりづけ又はひもで添付		
作品名	(研究のテーマを書くこと)	
学 校	所在地	
	学校名	
ふりがな 氏 名		学 年
団 体 名		
校 長 名		
指 導 者 名		
作品の説明		
研究の領域		

(注1) 上記の大きさの出品票に記入すること。

(注2) 「団体名」は、共同で研究した場合のみ記入し、「氏名」は実際に研究に参加した全員の氏名を記入すること。

(注3) 「研究の領域」は、中・高等学校(部)のみ物理、化学、生物、地学の領域を記入すること。

各市町村教委教育長  
各小・中学校長  
各義務教育学校長  
各中等教育学校長  
各特別支援学校長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

## 第43回奈良県「未来の科学の夢」絵画展 の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、作品の応募についてよろしくお願ひします。

### 記

#### 1 目的

県内の児童生徒が科学技術に関心を持ち、想像力を働かせて絵に表すことを通して、図画工作・美術教育の充実と振興を図る。

#### 2 主催

奈良県教育委員会、一般社団法人奈良県発明協会

#### 3 期日及び会場

展示会 令和3年12月3日（金）～令和3年12月5日（日）

表彰式 令和3年12月5日（日）

会場 イオンモール大和郡山2F イオンホール  
大和郡山市下三橋町741

#### 4 応募資格

県内の小・中学校、義務教育学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校小・中学部の児童生徒

#### 5 応募規定

作品は、未来の科学の夢や未来の世界を自由な発想で描いたもので、一人1点とし、未発表

のものに限る。作品の大きさは、B 3判又は四つ切り（約37cm×53cm）とし、描画材料はクレヨン、パス、水彩絵の具、サインペンなど自由とする。

## 6 応募方法

出品目録は、令和3年9月1日（水）から9月13日（月）までの間にFAXで送付すること。

また、作品は学校ごとに80点以内を選出し、出品目録、作品説明書とともに、令和3年10月5日（火）午後5時までに搬入又は送付すること。なお、搬入又は送付先は一般社団法人奈良県発明協会とする。

## 7 表彰

特賞（近畿経済産業局長賞、奈良県教育委員会賞、NHK奈良放送局長賞、朝日新聞社賞、奈良県発明協会会長賞）、入賞（金賞、銀賞、銅賞）

## 8 その他

特賞、入賞作品は、第44回未来の科学の夢絵画展（全国展）に出品する。

## 9 問合せ先

一般社団法人奈良県発明協会

〒630-8031 奈良市柏木町129-1 奈良県産業振興総合センター内

TEL 0742-34-6115

FAX 0742-34-6215



各市町村教委教育長  
各小・中学校長  
各義務教育学校長  
各中等教育学校長  
各特別支援学校長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

## 第78回奈良県児童・生徒発明くふう展 の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、作品の応募についてよろしくお願ひします。

### 記

#### 1 目的

未来の日本を担う児童生徒に発明くふうの楽しさと創作する喜びを体得させ、豊かな観察力と創造力を養うことを目的とする。

#### 2 主催

奈良県、奈良県教育委員会、一般社団法人奈良県発明協会

#### 3 期日及び会場

展示会：令和3年10月9日（土）、10日（日） 両日とも10時～17時

表彰式：令和3年11月17日（水） 15時～16時

会場：イオンモール大和郡山2F イオンホール

大和郡山市下三橋町741

#### 4 応募資格

県内の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校小・中学部の児童生徒

## 5 応募規定

作品は、一人1点、一人で作成したもの（共同作品の場合は三人まで）、1校につき150点以内で、未発表のものに限る。ただし、破損や変質しやすいもの、図面だけのものは対象外とする。また、作品は縦、横、高さとも1m以内で、重量20kg以内とする。

なお、特許・実用新案及び意匠の出願を希望する者は、出品前に出願しておくこと。

## 6 審査

主催者、後援者、学識経験者で構成する審査委員会が審査し、入賞者名は出品校に通知する。

なお、優秀賞受賞者名は毎日新聞に掲載する予定。

## 7 表彰

### (1) 優秀賞

優秀作品には表彰式当日、賞状及び副賞を授与する。

### (2) 参加賞

優秀賞以外の参加者全員に参加賞状を授与する。また、優秀賞を含む参加者全員に賞品を授与する。

## 8 全国展出品

優秀賞に選考された作品を、公益社団法人発明協会主催の全国展「第80回全日本学生児童発明くふう展」に推薦する。

## 9 出品の保護

作品の取扱いと保管には最善の注意を払うが、万一、火災、盗難その他の不可抗力により紛失又は破損したときは、その責任を負わない。

## 10 出品要領

### (1) 出品目録の提出

別紙様式により出品目録を作成し、令和3年9月1日（水）から9月13日（月）までの間に、FAXで一般社団法人奈良県発明協会宛てに提出すること。

### (2) 出品票の交付

出品目録の受付後に必要枚数を送付する。

### (3) 出品票の記入

製作に当たり、指導を受けたり参考にしたりしたものがある場合は、その指導者名や参考書名等を具体的に記入すること。また、作品の操作が特殊なものや複雑なものは、使用方法や使用した場合の効果あるいは説明書、データ、図面などを裏面又は別紙に記入し添付すること。

### (4) 出品物の搬入及び搬出

場 所 イオンモール大和郡山2F イオンホール  
大和郡山市下三橋町741

搬入日 令和3年10月6日(水)、7日(木) 両日とも13時～18時

搬出日 令和3年10月11日(月) 13時～18時

11 問合せ・出品目録提出先

一般社団法人奈良県発明協会

TEL 0742-34-6115

FAX 0742-34-6215

(別紙様式)

第78回「奈良県児童・生徒発明くふう展」出品目録送信票

学校名		担当者名	
電話番号		FAX番号	
		FAX送信日	

出品目録（ / 枚中）

番号	作品名	学年	組	ふりがな 氏名
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

(注1) 本票は、必要に応じて複写してください。

(注2) 提出する作品には必ず番号を付与してください。

(注3) 番号付与は、低学年から順次付与してください。

各市町村教委教育長  
各中学校長  
各義務教育学校長  
各公立高等学校長  
各中等教育学校長  
各特別支援学校長

}

殿

奈良県教育委員会教育長

令和4年度奈良県立高等学校入学者選抜  
実施要項説明会の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係者の参加についてよろしくお願ひします。

記

- 1 開催日 令和3年9月17日（金）
- 2 会場 県立教育研究所 大講座室
- 3 開催時間

開催時間	参加学校所在地域
10時00分～11時00分	奈良市、天理市、桜井市、五條市、御所市
13時00分～14時00分	生駒市、香芝市、葛城市、宇陀市、山辺郡、生駒郡、宇陀郡、高市郡、吉野郡
15時00分～16時00分	大和高田市、大和郡山市、橿原市、磯城郡、北葛城郡

参加時間は、原則としてこの表のとおりとする。

- 4 参加対象者
  - (1) 中学校等 2名（校長又は教頭1名及び教諭等1名）
  - (2) 高等学校 各課程ごとに1名（教頭）

## 5 日 程

### <第一部>

- 10:00～10:10 挨拶、日程説明  
10:10～11:00 入学者選抜実施要項等の説明

### <第二部>

- 13:00～13:10 挨拶、日程説明  
13:10～14:00 入学者選抜実施要項等の説明

### <第三部>

- 15:00～15:10 挨拶、日程説明  
15:10～16:00 入学者選抜実施要項等の説明

## 6 参加申込み

令和3年7月30日（金）までに、下記URL又はQRコードより専用フォームで申し込むこと。

<https://forms.gle/DjHGWxK5cPPPXcfw7>



## 7 持参品

「令和4年度奈良県立高等学校入学者選抜概要」（7月上旬に配布）

## 8 その他

当日、各選抜の入学願書を、中学校等に対し次の基準により配布する。

〔配布基準〕

- (1) 特色選抜・大和中央高校〔A選抜〕・帰国生徒等特例措置に使用する入学願書  
第3学年在籍生徒数×0.6（端数は、10枚単位に切上げ）
- (2) 一般選抜・二次募集・大和中央高校〔B選抜〕に使用する入学願書  
第3学年在籍生徒数（端数は、10枚単位に切上げ）

各市町村教委教育長 }  
各 学 校 長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

## 第67回青少年読書感想文奈良県コンクール の実施について（通知）

このことについて、下記のとおり実施しますので、応募についてよろしくお願いします。

### 記

#### 1 趣 旨

青少年が本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書の習慣化を図り、読書の感動を文章に表現させることを通して、豊かな人間性や考える力を育むとともに、自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。

#### 2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県学校図書館協議会

#### 3 応募資格及び区分

応募者は、満20歳までの県内の小・中・義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の児童生徒とし、それぞれ次のように区分する。

- (1) 小学校・義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部低学年の部（1、2年）
- (2) 小学校・義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部中学年の部（3、4年）
- (3) 小学校・義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部高学年の部（5、6年）
- (4) 中学校・義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部の部
- (5) 高等学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の部

#### 4 応募対象の図書

##### (1) 課題読書

主催者の指定した図書【課題図書】

別記のとおり。同一部内における学年指定はない。

(2) 自由読書

自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問わない。

ただし、教科書・副読本・読書会用テキスト類又はこれに準ずるもの・雑誌（別冊付録を含める。）・パンフレット類・日本語以外で書かれた図書は対象としない。

また、該当の部以外の課題図書は自由読書の対象として応募することができる。

5 用紙及び字数

(1) 400字詰原稿用紙を使用すること。

(2) 字数は以下の範囲を厳守すること。

- ・小学校・義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部低学年の部は、800字以内
- ・小学校・義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部中学年・高学年の部は、1,200字以内
- ・中学校・義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部の部は、2,000字以内
- ・高等学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の部は、1,801字以上2,000字以内

(3) 句読点はそれぞれ一字に数える。改行のための空白箇所は、字数として数える。

(4) 題名、学校名及び氏名は、字数として数えない。

6 応募作品

(1) 応募は日本語で書かれた作品に限る。

(2) 応募は課題読書、自由読書それぞれに一人1編ずつ応募できる。

(3) 応募は、個人のオリジナルで未発表の作品に限る。他の類似コンクールとの二重応募は認めない。

(4) 応募作品は、理由を問わず返却しない。

(5) 応募作品の著作権、出版権は主催者に帰属する。

7 作品の提出方法等

(1) 児童生徒は学校を通じて提出すること。

(2) 作品は、自筆のものを提出すること。（コピー・ワープロは不可。自筆不可能の場合は理由を添えて提出すること。）

(3) 応募票（別紙様式）をA5サイズにて増し刷りの上、必要事項を記入し、作品の右上にホチキスで留めること。

※ 小・中・義務教育学校においては、別途、奈良県学校図書館研究会から県内各学校長並びに学校図書館教育担当者宛て送付済みの「第67回青少年読書感想文奈良県コンクール募集要項」に記載のとおり、「応募作品集計表」及び「奈良県コンクール応募者一覧表」を提出すること。



- (4) 学校からの応募点数は、小・中・義務教育学校、中等教育学校前期課程及び特別支援学校小学部・中学部の部は各学校の学級数、高等学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の部は各学校の学級数の1/6以内とすること。

## 8 応募締切及び作品の提出先

### (1) 応募締切

小・中・義務教育学校・特別支援学校（小・中学部） 令和3年9月17日（金）

高等学校・特別支援学校（高等部） 令和3年10月1日（金）

### (2) 提出先

ア 小学校・義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の部

〒635-0072 大和高田市有井1

大和高田市立磐園小学校 教諭 高島 香織

イ 中学校・義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部の部

〒630-0131 生駒市上町3000

生駒市立上中学校 教諭 寺田 澄子

ウ 高等学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の部

〒633-0091 桜井市桜井95

奈良県立桜井高等学校 教諭 森 二郎

## 9 審査

審査員 奈良県教育委員会、奈良県学校図書館協議会、奈良県国語教育研究会、

奈良県立図書情報館、毎日新聞社奈良支局

## 10 入賞発表及び表彰

入賞者については、令和3年12月に奈良県学校図書館協議会（奈良SLA）Webページ（[http://sla.gr.jp/~nara/nsla\\_toha.html](http://sla.gr.jp/~nara/nsla_toha.html)）にて発表する。また、毎日新聞を通じて発表する。

表彰式は、令和4年2月5日（土）に行う予定

## 11 その他

県審査の結果、部ごとに、課題読書1編、自由読書1編の合計2編を中央審査会に送付する。

第67回青少年読書感想文奈良県コンクール (課題図書)

	著者	書名	出版社	価格
小学校	とみなが まい 作 たかお ゆうこ 絵	あなふさぎのジグモンタ	ひさかたチャイルド	1,430円
	すずき みえ 作 くすはら 順子 絵	そのときがくるくる	文研出版	1,320円
低学年	スーザン・ヴァーデ 文 ピーター・H・レイノルズ 絵 さくま ゆみこ 訳	みずをくむプリンセス	さ・え・ら書房	1,650円
	鈴木 まもる 作・絵	どこからきたの？おべんとう	金の星社	1,430円
小学校	鈴木 海花 文 はた こうしろう 絵	わたしたちのカメムシずかん：やっかいものが宝ものになった話	福音館書店	1,430円
	富安 陽子 作 佐竹 美保 絵	ゆりの木荘の子どもたち	講談社	1,430円
中学年	ミヒャエル・エグンラー 作 はたさわ ゆうこ 訳 杉原 知子 絵	ぼくのあいぼうはカモノハシ	徳間書店	1,540円
	嶋田 泰子 著 岡本 順 絵	カラスのいいぶん：人と生きること をえらんだ鳥	童心社	1,320円
小学校	加藤 多一 作 大野 八生 絵	エカシの森と子馬のポンコ	ポプラ社	1,760円
	長江 優子 作	サンドイッチクラブ	岩波書店	1,650円
高学年	アンナ・ウォルツ 作 野坂 悦子 訳	おいで、アラスカ！	フレーベル館	1,540円
	久世 濃子 著	オランウータンに会いたい	あかね書房	1,430円
中学校	濱野 京子 作	with you (ウィズ・ユー)	くもん出版	1,430円
	マイケル・モーパーゴ 作 佐藤 見果夢 訳	アーニャは、きっと来る	評論社	1,540円
	清水 洋美 文 里見 和彦 絵	牧野富太郎：日本植物学の父	汐文社	1,760円
高等学校	寺地 はるな 著	水を縫う	集英社	1,760円
	ジョン・ボイン 著 原田 勝 訳	兄の名は、ジェシカ	あすなる書房	1,650円
	佐藤 勝彦 著	科学者になりたい君へ	河出書房新社	1,540円

(別紙様式) ※この票は、A5版で印刷し、作品の右上にホチキスで貼付してください。

第67回青少年読書感想文

奈良県コンクール

# 応募票

応募区分

課題読書

自由読書

(○で囲んでください)

感想文の題名							
所 属	(ふりがな) 学校名	奈良県	市郡	町村			
	(ふりがな) 学校所在地 <small>(電話番号は市外局番から記入)</small>	( )	立	学校			
応 募 者	部・学年	小低・小中・小高・中学・高校			学 年	年	
	(ふりがな) 氏 名	( )					
	生年月日・年齢 ※高校生のみ記入	年		月	日生	( 歳)	
対 象 図 書  読 ん だ 本	著者・編者 訳者・画家						
	書 名 ※サブタイトル名も記入						
	シリーズ名・文庫名						
	発行所・発行年	発行所	発行年				
			初版発行年				
定 価 大 き さ ペー ジ 数	定 価	円	大 き さ	縦の長さ cm	ペー ジ 数		
感想文執筆に際し参考にした資料の有無 <small>(どちらかを○で囲んでください)</small>	有・無	(参考にしたもののタイトルやHPアドレスなどを具体的に記入してください)					

## ※必ずお読みください

1. 分かりやすく楷書で記入し、作品の上にホチキス留めしてください。
2. 「対象図書 読んだ本」欄は対象図書を特定するため、もれなく記入してください。
3. 記入もれは失格となる場合もありますので、もれのないように記入してください。
4. 応募票に記入された氏名・学校名・学年・感想文の題名・対象図書の書名は、毎日新聞社及び全国学校図書館協議会・奈良県学校図書館協議会の刊行物・ホームページで公表することがあります。御了解の上、御記入ください。

各市町村教委教育長  
各中・高等学校長  
各義務教育学校長  
各中等教育学校長  
各特別支援学校長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

## 令和3年度第2回高等学校卒業程度認定試験 の実施について（通知）

このことについて、下記のとおり実施されますので、関係者に周知されるようお願いします。

### 記

#### 1 趣 旨

高等学校卒業程度認定試験（以下「認定試験」という。）は、様々な理由で、高等学校を卒業できなかった者等の学習成果を適切に評価し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかを認定するための試験である。

#### 2 実施主体

認定試験は、各都道府県教育委員会、関係省庁及び関係機関の協力を得て、文部科学大臣が行う。

#### 3 受験資格

認定試験を受けることのできる者は、令和4年3月31日までに満16歳以上になる者とする。ただし、大学入学資格を有している者は除く。

#### 4 試験科目

試験科目は以下のとおりとする。

教 科	試 験 科 目

国 語	国 語
地理歴史	世界史 A 又は世界史 B のうちから受験者の選択する 1 科目及び日本史 A、日本史 B、地理 A 若しくは地理 B のうちから受験者の選択する 1 科目
公 民	現代社会 1 科目又は倫理及び政治・経済の 2 科目
数 学	数 学
理 科	科学と人間生活及び物理基礎、化学基礎、生物基礎又は地学基礎のうちから、受験者の選択する 1 科目の合計 2 科目、又は物理基礎、化学基礎、生物基礎若しくは地学基礎のうちから受験者の選択する 3 科目
外国語	英 語

なお、合格に必要な科目数は、選択した科目により 8 科目から 10 科目とする。

合格に必要な科目数	公民の試験科目	理科の試験科目
8 科 目	現代社会	科学と人間生活を含む 2 科目
9 科 目	現代社会	「基礎を付した科目」から 3 科目
	倫理及び政治・経済	科学と人間生活を含む 2 科目
10 科 目	倫理及び政治・経済	「基礎を付した科目」から 3 科目

※「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の 4 科目である。

#### 5 受験案内配布期間及び配布場所

令和 3 年 7 月 20 日（火）～ 9 月 14 日（火）

①県庁東棟 2 階人権・地域教育課、②県立教育研究所事務局窓口、③県文化会館、④県橿原文化会館で配布

①・②は土曜日、日曜日及び祝日を除く 8 : 30 ~ 17 : 00

③は休館日を除く 9 : 00 ~ 17 : 00

※休館日：月曜日（その日が休日の場合、翌日以降の平日）

④は休館日を除く 9 : 00 ~ 17 : 00

※休館日：木曜日（その日が祝日又は休日の場合、翌日以降の平日）

6 願書受付期間

令和3年7月20日（火）～9月14日（火）（9月14日消印有効）

7 出願方法

受験案内に添付してある封筒を使用し、文部科学省宛てに書留で郵送する。持参による願書受付は原則として行わない。

8 試験実施期日

令和3年11月6日（土）・7日（日）

9 時間割

月 日 時 間		11月6日（土）	11月7日（日）
		①	9:30～ 10:20
②	10:50～ 11:40	現 代 社 会 政 治 ・ 経 済	日本史 A 又は 日本史 B 地 理 A 又は 地 理 B
	11:40～ 12:40	昼 食 ・ 休 憩	
③	12:40～ 13:30	国 語	世界史 A 又は 世界史 B
④	14:00～ 14:50	英 語	生 物 基 礎
⑤	15:20～ 16:10	数 学	地 学 基 礎

⑥	16:40～ 17:30	科学と人間生活	化 学 基 礎
---	-----------------	---------	---------

10 試験方法

主として多肢選択による客観式の検査方法による出題とし、解答はマークシート方式による。

11 試験会場

王寺町やわらぎ会館（王寺町王寺2丁目1番18号）

12 合格発表

令和3年12月7日（火）（結果通知発送予定）

発表の方法は、直接本人宛ての通知をもって行うこととし、全科目合格者には合格証書を、一部科目合格者には科目合格通知書を送付する。

各市町村教委教育長  
 各中・高等学校長  
 各義務教育学校長  
 各中等教育学校長  
 各特別支援学校長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

令和3年度中・高等学校等保健体育指導者研修会  
 の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

生徒の興味・関心を高めるとともに、各校における運動好きな生徒の育成及び健康の保持増進のための実践力の育成につなげる研修を行い、中学校・高等学校等における保健体育指導の充実を図ることを目的とする。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県高等学校等保健体育学会、奈良県中学校保健体育研究会

3 期日、会場、内容、講師

開催期日	会 場	研 修 内 容	講 師
8月3日(火)	県立奈良西養護学校	第1部 「体育が苦手な生徒のための 授業づくり」 ～陸上競技の指導について～	山添村立山添中学校 教諭 神保 全宏
		第2部	県立高円高等学校



		「体育が苦手な生徒のための 授業づくり」 ～ネット型球技の指導について ～	県立高円芸術高等学校 教諭 峠 和貴
--	--	--	-----------------------

#### 4 日程

- (第1部) 8:40～ 8:45 開講式  
8:45～10:10 実技研修  
(第2部) 10:25～10:30 開講式  
10:30～12:30 実技研修

#### 5 参加対象者

県内の中学校、義務教育学校（後期課程）、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の保健体育を担当する教員

#### 6 申込方法

- (1) 令和3年4月1日付け週報第2358号掲載の参加基本様式により、職名、氏名及び担当学年等（(A)項目使用）を記入の上、令和3年7月27日（火）までに下記宛てFAXで申し込むこと。

奈良県教育委員会事務局保健体育課長

TEL 0742-27-9861

FAX 0742-22-3995

- (2) 講習会の参加について、奈良市立の各学校からの参加者は、奈良市教育委員会の指示に従って手続きすること。

#### 7 その他

- (1) 実技研修にあたっては、個人差に応じて研修できるよう運営するが、水分補給等については各自で準備・対応すること。
- (2) 参加者は下記のものを持参すること。
- ア 実技に適した服装及びシューズ
  - イ 筆記用具
  - ウ バドミントンのラケット
  - エ バドミントンのシャトル（1個）

※ ウ、エの貸し出しを希望する場合は、その旨を申込書余白部分に記入すること。

- (3) 当日の午前7時現在で、会場所在地（奈良市）において警報が発表されている場合、研修会は中止する。なお、それ以外の地域に警報が発表されている場合、研修会は開催するが、それぞれの地域の気象状況に応じて、安全を優先して対応すること。

(4) 今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年とは研修の内容や開催時間が異なる。

新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、研修会の中止、開催方法を変更する場合は県教育委員会事務局保健体育課から連絡する。

各市町村教委教育長  
 各小・中学校長  
 各義務教育学校長  
 各特別支援学校長 } 殿

奈良県教育委員会教育長

令和3年度体育実技指導者研修会の開催について（通知）

このことについて、下記のとおり開催しますので、関係教員の参加についてよろしくお願ひします。

記

1 趣 旨

小学校における体育の指導について、研修を通して、指導者の実技指導力を高めるとともに、各校における運動好きな児童の育成と児童の体力向上につなげる体育指導の充実を図る。

2 主 催

奈良県教育委員会、奈良県小学校体育研究会

3 期日、会場等

開催期日	会 場	領 域	講 師	定 員
8月17日(火)	平群町総合スポーツセンター体育館	表 現 運 動	大和郡山市立片桐小学校 教諭 藤崎 侑紀	40人
8月18日(水)	ジェイテクトアリーナ奈良	陸 上 運 動	香芝市立二上小学校 教諭 青山 哲	40人

8月19日(木)	吉野運動公園総合体育館	ゲーム・ボール運動	奈良県教育委員会事務局 保健体育課 指導主事 米川 奈緒	40人
----------	-------------	-----------	------------------------------------	-----

※ 表現運動領域、ゲーム・ボール運動領域は、令和3年度体育・保健体育指導力向上研修（中央講習会）の伝達講習を兼ねる。

#### 4 受講者

県内小学校、義務教育学校（前期課程）及び特別支援学校小学部の教員

#### 5 日程

開講式 9:00～9:10

実技研修 9:10～11:15

閉講式 11:15～11:30

#### 6 申込方法

- (1) 令和3年4月1日付け週報第2358号掲載の行事参加等共通仕様書により、職名、氏名及び希望領域（(A)項目欄）を記入の上、令和3年7月30日（金）までに下記宛てFAXで申し込むこと。

奈良県教育委員会事務局保健体育課学校体育係

TEL 0742-27-9861

FAX 0742-22-3995

- (2) 定員は、各領域とも40名とする。定員を超え受講できない場合のみ勤務校に連絡する。

#### 7 その他

- (1) 実技研修に当たっては、個人差に応じて研修できるよう運営するが、水分補給等については各自で準備・対応すること。
- (2) 欠席する場合は、学校長から保健体育課長宛てに欠席届を提出すること。
- (3) 参加者は下記のものを持参すること。
- ア 体育実技のできる服装（研修領域に適した服装）及びシューズ（屋内）
- イ 筆記用具
- (4) 開催日の午前7時現在で、各会場所在地に警報が発表されている場合は、その日の研修は中止する。なお、それ以外の地域に警報が発表されている場合、研修会は開催するが、それぞれの地域の気象状況等に応じて、安全を優先して対応すること。
- (5) この研修会は、県立教育研究所の中堅教諭等資質向上研修講座の共通研修1日分に充てることができる。
- (6) 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて実施内容を変更する場合は、県教育委員会事務局保健体育課から連絡する。

各市町村教委教育長  
各公立小学校長  
各義務教育学校長  
各県立学校長

} 殿

奈良県教育委員会教育長

## 令和3年度第2、3学期における外国語指導助手の派遣 について（通知）

特別支援学校及び公立小学校における外国語指導助手（以下「ALT」という。）の派遣について、下記事項に留意の上、令和3年8月4日（水）までに申請願います。

なお、ALTが訪問指導する際には、新型コロナウイルス感染症対策に御留意ください。

### 記

#### 1 派遣期間

- (1) 令和3年9月1日（水）から令和4年3月11日（金）までとする。
- (2) 派遣日は、原則として月曜日から金曜日までとする。

#### 2 派遣申請等の手続き

- (1) 特別支援学校が、県立教育研究所に配置しているALTの派遣を希望する場合について
  - ア 様式1により、派遣を希望する特別支援学校の校長が、県立教育研究所長宛て申請すること。
  - イ ALTの派遣日については、調整の上、後日決定し改めて通知する。
  - ウ ALTの派遣が決定された場合、校長は、派遣日の1週間前までに、次の(ア)～(ウ)の文書を県立教育研究所長宛て提出すること。(ア)～(ウ)の様式は、派遣日程決定後、送付する。

(ア) ティーム・ティーチング指導案（日時、場所、日程、内容及び担当者名を、英語で記載したもの）。なお、指導は、当該校教員とのティーム・ティーチングによるものとし、T2であるALTには、T1から明確な指示を与えること。

(イ) ビジットシート（詳細な訪問時間、使用教材などALTへの連絡事項）

(ウ) 活用計画書（2学期の派遣日程、活用内容）

(2) 小学校又は義務教育学校前期課程の外国語活動・外国語科の授業等に関わって、小学校等が最寄りの県立高等学校に配置されているALTの派遣を希望する場合について

ア 様式2により、派遣を希望する小学校等を管轄する市町村教育委員会教育長が、ALT拠点校の高等学校長宛て申請すること。なお、派遣希望日は、拠点校の定期考査期間中等を原則とする。

イ ALTの派遣日については、文書による申請前に、あらかじめ当該小学校等学校長と当該高等学校長の間で調整しておくこと。

ウ ALTの派遣が決定された場合、当該小学校長は派遣日の1週間前までに、次の(ア)～(ウ)の文書を当該高等学校長宛て提出すること。(ア)～(ウ)の様式は任意。

(ア) ティーム・ティーチング指導案（日時、場所、日程、内容及び担当者名を、英語で記載したもの）。なお、指導は、当該校教員とのティーム・ティーチングによるものとし、T2であるALTには、T1から明確な指示を与えること。

(イ) ALTへの連絡事項

(ウ) 最寄り駅から学校までの道順

### 3 派遣旅費

(1) 上記2の(1)の派遣に要する費用は、県教育委員会が負担する。

(2) 上記2の(2)の派遣に要する費用は、派遣を希望する小学校等又は市町村教育委員会が負担する。

### 4 ALTの職務

(1) 県立学校等における外国語授業等の補助

(2) 公立の小学校等における外国語活動等の補助

(3) 外国語教材作成の補助

(4) 外国語担当教員等に対する現職研修の補助

(5) 特別活動や部活動等への協力

(6) 外国語担当指導主事や外国語担当教員等に対する語学に関する情報の提供（言葉の使

い方、発音の仕方等)

- (7) 外国語スピーチコンテストへの協力
- (8) 地域における国際交流活動への協力
- (9) その他所属長又は校長が必要と認める職務

## 5 県立学校等におけるALTの配置

上記派遣期間中のALTの配置予定は、次の表のとおりである。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況等により、ALTが未配置の場合もある。

(別紙)

令和3年度第2、3学期の県立学校等におけるALTの拠点校等

(令和3年9月1日以降)

拠点校等
国際高等学校
奈良高等学校
西の京高等学校
高田高等学校
郡山高等学校
添上高等学校*
二階堂高等学校*
樫原高等学校
畝傍高等学校
桜井高等学校
五條高等学校*
青翔高等学校
生駒高等学校
奈良北高等学校*
榛生昇陽高等学校*
西和清陵高等学校
法隆寺国際高等学校(2名)
高取国際高等学校(2名)
大和広陵高等学校*
大淀高等学校
十津川高等学校*
教育研究所

\*の学校は、ALTが令和2年度9月以降未来日又はALTが8月中に帰国する学校。9月以降、来日次第順次配置予定



(様式1)

〇 〇 第 号  
令和3年 月 日

教 育 研 究 所 長 殿

〇〇〇〇学校  
校 長 氏 名

令和3年度第2、3学期における外国語指導助手の派遣について（申請）

このことについて、下記のとおり外国語指導助手の派遣をお願いします。

記

希望年月日	指導学年	授業等担当者氏名

(様式2)

〇 〇 第 号  
令和3年 月 日

県立〇〇高等学校長 殿

〇〇教育委員会  
教育長 氏 名

令和3年度第2、3学期における外国語指導助手の派遣について（申請）

このことについて、下記のとおり外国語指導助手の派遣をお願いします。

記

小学校名	希望年月日	指導学年	授業等担当者氏名